

アカミヤドリギ

小口 健夫

昨年の秋、当場のポプラ並木(改良系45/51種)の枝のヤドリギに赤い果実がついて、秋の陽にはえていた。雪がとけた、この春にはもう赤い果実はなくなっていた。多分鳥がついばんだのだろう。この並木のあちこちの枝に大小のヤドリギが寄生しているのがみられた。

ヤドリギの仲間は日本には3属7種があるといわれているが、ヤドリギの仲間の多いのは熱帯、暖帯のようである。北海道にはヤドリギ属(Viscum)の2種が分布して広葉樹に寄生している。果実が淡黄色の種がヤドリギで赤いものがアカミヤドリギである。ヤドリギ科のものは、吸根という一種の不定根を宿主の組織にいれ、養分、水分を吸うとともに自分でも葉緑素をもって光合成をするよくばりな植物である。ヤドリギの属名であるViscumは粘性のあるトリモチの意でトリモチの代用にされるくらい粘性が高いため、ついばんだ鳥の脚やくちばしにつき、鳥がこれを払いのけようとして、枝や幹にこすりついたり、あるいは糞にまじった種子が発芽し、そのまま寄生する。ヤドリギ属には、雌雄異種と雌雄同種のものがあり、ヤドリギは雌雄異種であるが、アカミヤドリギはどうか、ちょっと調べたが分からないので今後の研究対象となろう。

欧米のキリスト教国では、実のついたオ



ハンノキに沢山寄生したヤドリギ
(種不明)



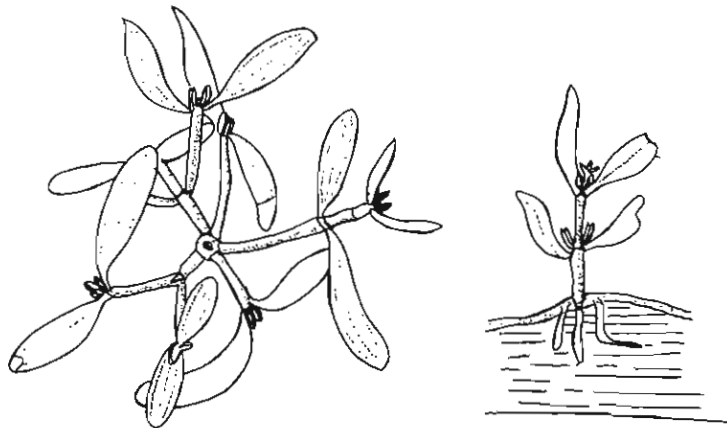
ポプラのアカミヤドリギ

ウシュヤドリギをクリスマスの飾りにつかい、そのため市販されているようである。またヤドリギ属の仲間にはヨーロッパで鎮痛、通経、利尿、高血圧、動脈硬化、てんかんなどの薬として用いられているといわれている。ヤドリギの仲間が小・中径木に寄生し、このため宿主が枯れるとヤドリギも枯れるのでこれを「ヤドリギの自殺」と呼んでいるようである。

小さな標本をとり、その形態と寄生根の状態をえがいた。

宿主は寄生された刺激によるのか寄生部が本来の枝の直径の約5倍にふくれていた。

(経営保護部長)



アカミヤドリギ
Apr. 24 '80
Host: ポプラ45/51